

科目コード	R24136	科目名	運動学				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	谷岡 龍一						
授業の概要	運動学は身体運動を考究する学問であり、その知識は運動障害をもつ患者の評価・治療を担う理学療法士・作業療法士にとって必要不可欠なものである。本講義では、関節の構造と運動特性および関節運動について学習する。						
DPとの関連	慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている						
	理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている						
	生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている						
	理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている						
	地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている						
2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	筋骨格系の構造及び機能と関節運動との関係を説明できる。 力学的原理に基づき、運動を説明できる。 正常歩行時の各相の名称とその特徴を説明できる。						
履修上の注意事項	必ず1年次の解剖学、生理学を復習して授業に臨んで下さい。骨、関節、靭帯、骨格筋の解剖生理をしっかりと身につけておかないと運動学は理解することが難しい科目となります。学習の助けとして生成AIを自由に活用できます。ただし、中間試験や期末試験での使用は禁止されていますのでご了承ください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション / 【1】生体力学の基礎【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	2	【1】四肢と体幹の運動（上肢）【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	3	【2】四肢と体幹の運動（上肢）【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	4	講義1 - 3回のまとめ、中間試験【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	5	【1】四肢と体幹の運動（体幹・顔面）【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	6	【2】四肢と体幹の運動（体幹・顔面）【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	7	【1】四肢と体幹の運動（下肢）【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	8	【2】四肢と体幹の運動（下肢）【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	9	講義5 - 8回のまとめ、中間試験【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	10	【1】姿勢【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	11	【2】姿勢【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	12	【1】歩行と走行【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	13	【2】歩行と走行【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
	14	運動学習【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分	
15	講義10 - 14回のまとめ、中間試験【谷岡】				事前；教科書の予習30分、事後；授業の復習30分		
成績評価方法	中間試験50%、期末試験50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	基礎運動学 第7版・中村隆一 ほか（医歯薬出版）					9784263266823	
参考書							
教員からのメッセージ	理学・作業療法を学ぶ上で運動学は避けて通れません。とにかく繰り返し勉強し理解して下さい。						
教員との連絡方法	メールアドレス：tanioka@hcu.ac.jp						
実務経験のある教員	回復期の診療経験（脳卒中、整形外科、呼吸器科等）、維持期の診療経験（廃用症候群等）、訪問リハビリの診療経験（特定疾患、慢性疾患等）。						